

治療審査委員会申請書類

患者ID :

患者氏名				生年月日			年齢			性別			
診療科			区分	☐	階病棟		☐	外来		申請医師名			
診断名								Stage			Performance Status		
告知内容													
治療方法	プロトコール名		アフアチニブ単独療法(ジオトリフ)								告知Grade		
投与計画	身長		cm		体重		kg		体表面積				m ²
	血清クレアチニン				ml/dl		Cockcroft-Gault		GFR(糸球体濾過率)		性別無し ml/min		
	※女性には0.85を掛けています												
	○ アフアチニブ(ジオトリフ) <u>40</u> mg 1日1回内服 連日投与 PD(増悪)まで [20mg/30mg/40mg/50mg]												
	※1日1回、食事の1日1回、食事の1時間前から食後3時間までの間を避けて、(空腹時) 毎日決められた時刻に服用。												
	発疹・にきび様発疹の治療指針												
	軽度		病変 限局性		随伴症状 ほとんどなし		日常生活 支障なし		二次感染 兆候なし				
	中等度		全身性		軽度 掻痒、疼痛など		ほとんど 支障なし		兆候なし				
	重度		全身性		重度 掻痒、疼痛など		ほとんど 支障なし		兆候あり				
	軽度		ステロイド軟膏塗布		中等度		局所外用薬 + テラサイクリン系内服薬		重度 局所外用薬 + テラサイクリン系内服薬 + ステロイド内服治療				
※医師セット→化学療法室→副作用対策→抗EGFR皮膚障害セット													
投与開始日 _____ 年 _____ 月 _____ 日													
併用薬の確認	併用注意：P-糖蛋白阻害剤(リトナビル、イトラコナゾール、ベラパミル等) 本剤はP-糖蛋白の基質であり、本剤服用前にP-糖蛋白阻害剤を投与すると、併用により本剤の血中濃度が上昇することがある。 ：P-糖蛋白誘導剤(リファンピシン、カルバマゼピン、セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort)等) 併用により本剤の血中濃度が低下することがある。												
B型肝炎check	HBs抗原 () ⇒ HBc抗体 (), HBs抗体 () ⇒ HBV核酸定量 0.9IU/ml ()												
予測される副作用と対処方針	急性肺障害、間質性肺炎 ★投与開始初期に発生し致命的な転機をたどる例が多い 胸部X線検査等を行うなど観察を十分に行う。患者には初期症状(風邪のような症状:発熱、息切れ、咳)を伝え、早期の医療機関への受診について指導する。 発疹、にきび様皮疹が強く現れることが多いので、あらかじめ症状などを説明しておく必要がある 重篤な下痢 → 早期の対処療法(整腸薬、ロペラミドなど)												
備考 注入ポンプ点 滴回路、フィル ター指定等													
採否	☐ 承認 ☐ 再検討 ☐ 不許可												

担当委員署名 _____

許可決定日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 有効期限 _____ 年 _____ 月 _____ 日